DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　１７５８

タイエンダー上塗Uストロング

１．一般名　厚膜形ポリウレタン樹脂上塗塗料　強溶剤形

２．規格　社内規格

３．特徴
１）耐候性、光沢保持性にすぐれている。
２）肉持感がすぐれている。
３）密着性、可撓性、耐化学薬品性にすぐれている。
４）厚塗形の塗料で中塗と上塗を兼用することが出来る。

４．塗料性状

項　目		内　容				
容姿		２液性				
荷姿		18 kgｾｯﾄ（主剤：16.2 kg、硬化剤：1.8 kg） 4 kgｾｯﾄ(主剤：3.6kg、硬化剤：0.4 kg)				
色相		白、各色				
光沢		つや有り				
密度 (23℃)	塗料	1.20（白）				
	揮発分	0.87				
加熱残分		66%（白）				
乾燥時間	温度	0℃	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	60 分	40 分	20 分	20 分	15 分
	半硬化	10 時間	8 時間	5 時間	4 時間	2 時間
標準膜厚		55μm				
引火点		ＳＤＳ参照				
発火点		ＳＤＳ参照				
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

５．塗装基準

項　目		内　容				
下地処理		―				
調合法		主剤：90 部、硬化剤：10 部（重量比）				
可使時間		0℃	5℃	20℃	30℃	40℃
		9 時間	8 時間	5 時間	4 時間	3 時間
温度・湿度制限		気温：0℃未満、湿度：85%RH 以上 但し被塗物表面に結露･結氷が無いこと				
使用シンナー		ＶトップＨ上塗用シンナー夏型 又は同真夏型、同冬型				
塗装法	塗装方法	刷毛･ﾛｰﾗｰ塗装		エアレス塗装		
	希釈率	5～10%		5～15%		
	標準使用量	0.17 kg/㎡		0.21 kg/㎡		
	標準膜厚	55μm		55μm		
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	125μm		125μm		
エアレス塗装条件		１次圧 0.4～0.5MPa(4～5 kg/cm²) ２次圧 11～15MPa(110～150 kg/cm²)				
		チップ№163-515～617				
塗装間隔	温度	0℃	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	24 時間	24 時間	16 時間	12 時間	10 時間
	最大	7 日	7 日	7 日	5 日	5 日

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

６．施工上の注意

(1)被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2)使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違うと十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
(3)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
(4)ＶトップＨ上塗用シンナー以外のシンナーは使用しないこと。ＶトップＨ中塗用シンナーなど他のシンナーを使用するとゲル化するおそれがある。
(5)低温環境下においては、被塗面に結露・結氷を生じやすく、塗膜の付着性が損なわれる原因となる。露点管理を実施するなど被塗面の状態を確認した上で塗装作業を行うこと。
(6)乾燥前に結露や降雨の影響を受けると、塗料の流失、表面の凹凸の発生や艶引け、変色等の不具合の原因となるため、降雨、降雪等の影響を受けないよう、シート等を用いた養生や気温が低下する夜間に、結露・結氷が生じないようにすることが必要である。
(7)低温環境下においては、塗り重ねを行う際は、指触で塗膜の乾燥状態を確認するか、一部に試験塗装を行い、その結果に基づいて、塗り重ねの可否を決めることが望ましい。特に、塗装後、気温が低下する夜間に極低温状態になった場合、硬化反応が遅くなるため、十分な注意が必要である。塗装後、0℃以下の環境に長期間曝される場合、塗面上の歩行は避けること

７．関連法則

	主　剤	硬　化　剤
危険物表示	第４類第２石油類	第４類第２石油類
有機溶剤区分	第２種有機溶剤含有物	第２種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	―

８．使用上の注意［警告］

(1)安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.10

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。